

2-5 長野県内保健所における保健医療分野の卒前実習・卒後研修の実施状況に関する調査研究

長谷川航平（信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室）、塚田昌大（松本市政策部）、
白井祐二（長野県 佐久・上田保健福祉事務所）、
塚原照臣（信州大学医学部産業衛生学講座、信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室）、
野見山哲生（信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室、信州大学医学部産業衛生学講座）

キーワード：地域保健、公衆衛生実習および研修、保健所、アンケート調査

要旨：長野県内保健所における実習・研修の実施状況および受け入れの実態および課題を明らかにすることを目的に、県内保健所 11 ヶ所に対してアンケート調査を行った。11 ヶ所全ての保健所より回答があった。調査より、県内保健所は地域医療人材の育成に関与しており、座学の割合が低く、実践的な実習・研修となっていることが明らかとなった。一方、マニュアルが整備・利用されていない点、一部の实習・研修で座学の割合が高い点、受け入れが負担となっている点などの課題も見られた。

A. 目的

県内保健所での保健医療分野の学生の実習（以下、実習とする）や医師の初期臨床研修の卒後実地研修（以下、研修とする）は、医学的な問題を個人のみならず社会の問題として捉える公衆衛生マインドの醸成の機会として、重要な役割を担っている。しかしながら、実習・研修の企画運営については各所に委ねられている。

そのため、実習・研修の人数や実施期間、内容などの受け入れ実績およびその受け入れ体制の実態は不明である。

我々は県内保健所における受け入れ実績および受け入れ体制の実態および問題点について把握することを目的として県内保健所にアンケート調査を実施した。

B. 方法

① 調査対象

長野県内保健所（長野県保健福祉事務所 10 ヶ所および長野市保健所 1 ヶ所の計 11 ヶ所）の実習・研修の担当職員を対象とした。

② 調査期間

平成 30 年 7 月 25 日から平成 30 年 7 月 31 日までとした。

③ 調査内容

調査票は、平成 27 年度から平成 29 年度における医学生、看護学生、栄養士養成校生、薬学

生、獣医学生と臨床研修医（以下、研修医とする）の実習・研修者の分類（以下、分類とする）ごとに受け入れ実績、および受け入れ体制に関して調査を行った。

受け入れ実績については、分類ごとに受け入れ年度、依頼元機関、受け入れ人数、実施期間、全実習・研修時間に占める事業概要の説明や講義等の座学の時間の割合（以下、座学の割合とする）を自由記載にて尋ねた。

受け入れ体制に関しては、分類ごとに、受け入れに当たってのマニュアルなどの有無、重視している内容、業務上の負担感について選択式回答にて尋ねた。

C. 結果

調査票の回収率は、100.0%（11 保健所）であった。

① 受け入れ実績について

結果は分類別に表 1 に示した。すべての保健所でいずれかの実習・研修の受け入れが見られた。

② 受け入れ体制について

（ア）担当する部署と担当者の職種

受け入れの担当は、医学生・医師では総務課事務職であったが、その他ではそれぞれの専攻に対応する職種が担当となっていた。

（イ）受け入れにあたってマニュアルなどの有無

受け入れにあたり、マニュアルは活用されて

おらず、実習・研修の受け入れの都度に検討する
とした保健所が最多であった。

(ウ) 実習・研修で重視している内容

重視している内容は薬学生・獣医学生を除き、
実務の理解としている保健所が 70% 以上で見ら
れた。

(エ) 業務上の負担感

全ての保健所でいずれかの実習・研修の受け
入れが負担となっていた。

D. 考察

県内保健所は地域医療人材の育成に関与して
おり、座学の割合が低く、実践的な実習となっ
ていることが明らかとなった。

また、研修医に対する研修は必須科目から除
外後にも受け入れが見られた。

一方、マニュアルが整備・利用されていない点、
薬学生を対象とした実習で座学の割合が高い点、
一部の実習が 1 日以下と非常に短いこと、受け
入れが負担となっている点などの課題も見られ

た。これらの課題に対しては、依頼側が実習・
研修の時期や実施期間について配慮を行うこと、
依頼元との間で事前調整することや、受け入れ
負担軽減のために既存のマニュアルを活用する
ことが対策として考えられた。

E. まとめ

県内保健所は地域医療人材の育成に関与して
おり、実践的な実習が行われていた。一方で、一
部の実習では座学の割合が高い点やマニュアル
の利用がなされていない点などの問題点も見ら
れた。今後はこれらの点について改善が図られ
ることが期待される。

F. 利益相反

利益相反なし。

(謝辞)

調査研究の趣旨を御理解頂き、アンケート調査
にご協力いただきました長野県内保健所の担当
者の皆様に深謝します。

表1 受け入れ実績

年度	医学生			看護学生			栄養士養成校生			薬学生			獣医学生			研修医		
受け入れ人数(人)																		
27	56	(8)		266	(24)		90	(26)		46	(46)		8	(8)		26	(0)	
28	68	(12)		276	(20)		88	(29)		63	(63)		7	(7)		31	(0)	
29	76	(11)		267	(26)		76	(26)		40	(40)		4	(4)		29	(0)	
計	200	(31)		809	(70)		254	(81)		149	(149)		19	(19)		86	(0)	
受け入れ保健所数(所)																		
27	10			11			11			5			1			3		
28	10			11			10			8			1			4		
29	11			10			10			8			1			3		
計	11			11			11			8			1			4		
実施期間(日)	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大
27	1	1	5	7.5	1	20	5	5	6	1	0.5	3	1	1	1	5.75	1	30
28	1	1	5	4	0.5	25	5	5	6	1	0.5	3	1	1	1	1.5	1	25
29	1	1	5	3	1	25	5	5	6	1	0.5	3	1	1	1	5.75	1	20
計	1	1	5	4.5	0.5	25	5	5	6	1	0.5	3	1	1	1	1.5	1	30
座学の割合(%)	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大	中央値	最小	最大
27	48	15	100	32	9.1	80	32	9	60	85	50	100	50	50	50	20	10	65
28	50	10	100	30	10	80	32.5	9	60	95	50	100	50	50	50	25	25	73
29	45	0	100	25	0	72	35	13	40	80	50	100	50	50	50	40	20	66
計	49	0	100	28.5	0	80	33	9	60	80	50	100	50	50	50	30	10	73

() 内は県外施設からの受け入れ人数